



令和2年度

南小だより

川越市立霞ヶ関南小学校

学校だより 第5号

□令和2年7月1日

□児童数：229名

(R2.7.1 現在)

□校長：武蔵 昌行

【学校教育目標】○やる気 ○思いやり ○げん気

～子供たち一人一人が、学ぶ楽しさ・生きる喜びを実感できる学校～

分散登校から始まった学校再開も、早1ヶ月が過ぎます。6/22より一斉登校が始まり、今週からは通常通りの日課も始まりました。分散登校の期間を含め、保護者の皆様には登下校の見守りや、家庭学習の支援等にご協力をいただき、ありがとうございました。既にお知らせしてありますように、本年度は1学期の終業日が31日となります。例年より長くなる7月の学校生活が安全に、充実した期間になるよう、今できることに精一杯取り組んでまいります。

感染症防止を意識した学校生活

県外への移動も解除され、街には人々の賑わいが戻りつつある状況ですが、依然として新型コロナウイルス感染症の終息は見られず、首都圏を中心に新たな感染者が日々報告されています。

このような状況の中、学校では「子供たちへの感染症防止を第一に考えた学校生活」を念頭におき、引き続き次のように取り組んでまいります。

○「(ちょっと)マ手一(まて一)」を原則とした教育活動の実施

(マ) マスクをつける

(手) 手洗いをする

(一) 友達と最低1メートルの間隔



この取組だけで感染症を予防していくことは難しいかもしれませんが、活動する際の条件として常に意識して取り組んでいきます。

【具体的には…】

- * 体育や休み時間などに運動をする際には、1m以上の間隔を確保できることを条件に、マスクを外して活動できるようにします。(マスク着用による熱中症を防止するため)
- * 手洗いを徹底し、1m以上の間隔が確保できることを条件に、教材教具を共有できるようにします。
 - ・ 校庭で遊ぶ際、遊具やボールを使用することができるようになります。
 - ・ 数に限りのある教具を授業で使用することができるようになります。
- * 大きな教室に変更することにより、大人数での一斉授業を可能にします。
 - ・ 空調が無い部屋を使用する際は、暑さ指数(WBGT)を計測し、熱中症を防止していきます。指数が基準値を超えた場合には、空調のある教室に移動し、少人数(25名以下)で活動を行います。

このような現状の中、嬉しい出来事がありました。それは「時刻を意識した行動」ができる子供が増えたことです。今までも、生活目標に設定し、重点的に時刻を意識して行動する力を育ててきましたが、なかなか定着できませんでした。しかし分散登校期間中、日課が変わったためチャイムを鳴らさないでいたところ、時計を見て行動できる子供が増えました。また、友達に声をかけて呼びかける子供の姿も多く見られるようになりました。とても嬉しい誤算でした。

「感染症の流行」というピンチが、「時計を見て行動できる子供が増える」というチャンスに変わりました。このチャンスを生かすため、引き続き「ノーチャイム」を実施し、「時刻を意識して行動できる子」を育てていきたいと考えています。

今後の学校行事等につきましては、市教育委員会の方針をもとに実施の可否を判断し、本校の実態に即した形で実施してまいります。具体的な内容については、13日の週から始まる「懇談会」の場でご説明する予定です。宜しくお願いいたします。